

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 41週

集計期間 10/6-12

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱									2	1				3
溶連菌感染症				1			2		1					4
感染性胃腸炎		3	5	4	2	6	2	4	4	3		4		37
水痘		1	1	1								1		4
手足口病		1												1
伝染性紅斑						1		1						2
突発性発疹		2	4	1										7
百日咳														
ヘルパンギーナ			1			1						1		3
流行性耳下腺炎										1				1
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
						小児科定点総数 62		増減 10		前週比 119.2%				定点当たり 10.3
										病院:開業医 3:59				増減 -2+12
内科Flu														
						インフルエンザ総数		増減 0		前週比		?%		定点当たり
										小児科:内科 0:0				増減 0:0

総数62、前週の119%と、増加したものの、まだまだ少数です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比123%、定点当たり6.2と、増加です。

2位は、突発性発疹、定点当たり1.2です。

以下は、全て、定点当たり1未満で少数ですが、

以下は、溶連菌感染症、水痘4名ずつ、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナが3名ずつです。

伝染性紅斑2名、手足口病、流行性耳下腺炎1名ずつ報告です。

RSウイルス感染症、0になりました。

40週の旧静岡地区のインフルエンザは、5名と激減です。

10/13清水区休日当番医は、来院数は68人で、水痘1名、溶連菌1名、

伝染性紅斑1名、ヘルパンギーナ1名、胃腸炎3名という事で、

このサーベランスの数字を反映した状況だった様です。